

2009年度

科目名	日本文学を読む		
担当教員	鈴木 利一		
配当	教育3	コード	45850
開期	通年	講時	木曜日5限
		単位数	4
授業テーマ	古代の神話・説話・物語を読む。		
目的と概要	この講義で扱う日本文学とは、古代日本の神話や説話のことです。これらの作品には、当時の人々の暮らしの様子や世界観が活き活きと描写されています。こうした古代の文学作品を読み進めていく中で、古代日本社会とその文化への新たなイメージを獲得しましょう。そして、古典文学から得られる感動の世界に親しんでみましょう。		
成績評価法	年2回の課題に加えて随時小テスト実施しますので、その課題及び小テストと日常の学習姿勢等によって総合的に評価します。		
テキスト	講義時にプリントを配布する。		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>1. 古代神話の世界(15週)  前期は古事記・日本書紀・風土記に記録される日本神話から、昔話や説話文学にも通じる要素を読み取り、古代文学の基層世界を展望します。また、古事記や日本書紀の物語に付随する歌謡等についても取り上げ読んでいきます。取り上げる神話は、「天地創世」「国生み」「黄泉国訪問」「スサノヲの流浪」「天孫降臨」「海幸山幸」「蘇民将来と茅輪」「三輪山神話と箸墓伝承」「アメノヒボコの渡来」「ヤマトタケル」「天女の羽衣」「相撲の起源」「殉死と埴輪の起源」等の予定です。</p> <p>2. 古代説話・物語の世界(15週)後期は、日本最古の仏教説話集である日本霊異記を中心に説話を読み進め、古代文学の展開の様相を探ります。また、時間が許せば、平安初期の歌物語の世界も紹介していく予定です。取り上げる説話・伝承は、「狐妻」「道場法師説話群」「聖徳太子と聖人伝承」「役行者説話」「動物報恩譚」等の予定です。</p> <p>講義の性格上、作品を理解するために、時代背景や神社、仏閣、史蹟等の話題が多くなります。また、同じ理由で旧暦に由来する年中行事や祭礼等に関する知識も必要になります。各講義のはじめに、そうした古典文学に関連する周辺事項の解説や参考書籍等の紹介も行い、より深い作品理解への到達を目指します。</p>			